

平成29年度第1回 会下山遺跡整備・活用検討委員会 会議録

日 時	平成29年11月14日(火) 15:00～17:00	
場 所	芦屋市役所北館4階教育委員会室	
出席者	委員長 安部 みき子 副委員長 藤川 祐作 委員 江守 易世 委員 仲谷 由利子 委員 野間 靖雅 委員 花尾 廣隆 委員 船曳 純子 委員 星野 剛一  (事務局) 社会教育部長 川原 智夏 生涯学習課長 茶嶋 奈美 生涯学習課文化財係長 竹村 忠洋 生涯学習課文化財係学芸員 森山 由香里	
事務局	生涯学習課	
会議の公開	■ 公開	
傍聴者数	0 人	

### 1. 会議次第

(1) 教育長あいさつ

(2) 審議事項

①台風21号の被害状況について

②会下山遺跡オカリナミニコンサートの実施結果について

③これまでの意見と対応のまとめについて

④その他

### 2. 提出資料

- ・資料1 ー 台風21号による会下山遺跡の被害状況について
- ・資料2 ー 遺跡×ミュージック♪会下山遺跡オカリナミニコンサート実施報告書
- ・資料3 ー 過去の委員会の議題一覧
- ・資料4 ー これまでの意見・対応のまとめ
- ・資料5 ー 学校園連携及び子ども対象事業の実施状況(参考)

### 3. 審議経過

【議題①】台風21号による会下山遺跡の被害状況について

(安部委員長)

それでは、議題1について、ご説明をお願いしたいと思います。

(事務局：森山)

資料1に基づき説明

(藤川副委員長)

復元高床倉庫の屋根も傷んでいるのですか。

(事務局：竹村)

屋根上部の千木部分も破損しています。

(安部委員長)

高床倉庫は建て直すのですか。柱の補強等で済むのですか。

(事務局：竹村)

傾きの原因として、柱が不等沈下を起こしていることが考えられます。ジャッキアップするだけではまた沈んでしまうので、基礎を入れる必要が出てきますが、文化財保護法等との関係上、方法については慎重に検討する必要があります。

(星野委員)

資料1の①～③についてはすぐに復旧できるのですか。

(事務局：竹村)

①～③については、すぐに復旧にかかります。また、市の職員等で復旧できるところは、すでに着手済みです。

## 【議題②】 遺跡×ミュージック♪会下山遺跡オカリナミニコンサート実施報告書

(安部委員長)

それでは、議題2について、ご説明をお願いしたいと思います。

(事務局：竹村)

資料2に基づき説明

(仲谷委員)

出演者の方々から、緑豊かで素晴らしい雰囲気の中で演奏が出来てよかったと伺いました。また、市の職員の準備から当日までの対応もとてもよかったと聞きました。自身も、市の職員の当日の配慮や気遣いが素晴らしかったと感じます。

オカリナの音は良く聞こえましたが、少し寒かったので、開催時期は、あと半月ほど早いほうが良いと思います。

初めて登ったという高齢者の方もいましたが、しんどくても登る価値があったと聞きました。

(事務局：竹村)

仲谷委員の発信で始まった初めての試みでした。全体で見れば成功かもしれませんが、細かく見れば改善点もたくさんと思いますので、改善していければと思います。

**【議題③】 これまでの意見と対応のまとめについて**

(事務局：竹村)

資料3に基づき説明

(江守委員)

スマートフォンアプリ『芦屋歩記』に掲載されている会下山遺跡の説明について、もう少し内容が濃くてもいいと思います。

(船曳委員)

生涯学習課から情報をもらい、やってみます。

(星野委員)

アプリ『芦屋歩記』を使うと会下山遺跡への道もわかるのですか。

(船曳委員)

GPSを利用した道案内の機能がついています。

(星野委員)

資料3の24番と26番について、整合性が取れていないのではないですか。

(事務局：竹村)

生涯学習課は一度苦情を受けた経験がありますが、地域経済振興課ではどうですか。

(船曳委員)

苦情は来ますが、地域経済振興課は、観光施策を担当しているので、道順を公開しないと何もできません。「観光」という観点があるので、ルートを設定できるのかもしれませんが。

(星野委員)

資料3の47番について、地域経済振興課のほうから何か話題はありませんか。

(船曳課長)

観光協会へ会下山遺跡をまわるイベントを提案しているが、坂が厳しいため、募集してもあまり申し込みがないようです。観光協会事態も高齢化しているため、会下山遺跡周辺は見るものがたくさんあるにも関わらず、観光協会がカバーしている範囲としては、薄い地域になってしまっています。観光協会の若返りも含めて、課題と考えています。

他に、芦屋川カレッジのOB・OG「学遊会」のOGでハイキングを行うグループにも会下山遺跡をまわるコースを積極的に紹介しています。

(事務局：竹村)

会下山遺跡はハイキングコースになっているので、他の史跡と比べて、「行った（通った）ことのある人」の数だけで言うと、非常に多いのだと思います。

(星野委員)

ハイキングの人たちがそれだけ来て（通って）いるということは、遺跡として活用されていることになるのでしょうか。

(事務局：森山)

遺跡としての認識はされていないと思います。足を止めて見学してもらえれば、活用になると感じます。

(仲谷委員)

看板がもっと充実すれば、興味をもってもらうことができ、さらに三条文化財整理事務所での展示への誘導がもっと上手くできれば、関心を持つ人も増えるのではないのでしょうか。

(星野委員)

『芦屋歩記』のマップに三条文化財整理事務所を掲載してもらえばいいのではないのでしょうか。

(安部委員長)

三条文化財整理事務所は、中で何をやっているのかわからないので入りにくいと感じます。

(事務局：森山)

三条文化財整理事務所は、生涯学習課の業務や行事によっては閉めている日があるため、「いつでも空いています」というような広い周知ができていません。

(船曳委員)

アプリ『芦屋歩記』への掲載は可能です。

(事務局：茶嶋)

三条文化財整理事務所の看板については、作成の指示をしています。

(藤川副委員長)

資料3の23番にあるどんぐりバスは、何という駅で下りればいいのですか。

(事務局：森山)

「荘園中」とう駅で降りて、「魚屋道」を下ると会下山遺跡登山口の前に出ます。

(江守委員)

住宅街の中の細道なので、知らない人には非常にわかりにくいと思います。

(事務局：茶嶋)

資料3にある、これまでいただいた意見について、遺跡整備等にかかわる大きな問題の解決には時間がかかりますが、できることから解決していきたいと考えています。

<閉会>